

日本経営工学会論文誌への投稿のお勧め

日本経営工学会論文誌は、経営工学、管理工学、工業経営学に関する領域における理論ならびに方法論の発展および普及のために、会員の独創的な研究成果を公表することを目的として刊行されています。冊子体と文号と CD-ROM 版英文号があり、和文号は年 6 回(4, 6, 8, 10, 12, 2 月) 発刊し、英文号は年 2 回(8, 2 月) 発刊しています。投稿は英文、和文ともに、常時受け付けておりますので、投稿をご検討ください。以下に概要を示しますが、詳細については、投稿規程、論文執筆細則など以下のウェブページをご覧ください。

論文誌ウェブページ：<http://www.jiminet.jp/journal/ronbunshi.html>

1. 投稿区分は以下となります。適切な区分をお選びください。

論文区分とその考え方	査読・掲載の方法と標準頁数
1) <u>原著論文 (Original Paper)</u> 1-a) <u>調査研究 (Review & Survey)</u> : 文献調査、実態調査などの調査結果に含まれる問題、手法、事実に対して、それをオリジナルな視点で体系的にまとめた研究で、新しい知見や研究の枠組みの構築に学術的な価値を有するもの。 1-b) <u>理論・技術 (Theory & Methodology)</u> : 科学的・工学的手法を用いて、問題解決の新しい方法論や原理原則を明らかにした研究で、解析、実験、計算、考察などにおいて学術的価値を有するもの。 1-c) <u>事例研究 (Case Study)</u> : 現場における問題を uptake、既存の方法論や原理原則を問題の特徴にあわせて工夫して適用し、利用効果を客観的に評価した事例の研究で、波及効果が認められるもの。	2 名の審査委員 (レフェリー) の審査結果に基づいた担当エリアエディタの提案を受け、日本経営工学会論文誌編集委員会が決定する。ただし、第 3 者 (審査員) の専門家に依頼してコメントを求めることがある。 刷り上がり 6 ページを基準とする。
2) <u>研究速報 (Research Letter)</u> 新規性のあるモデルや手法、有効なデータや資料、アプローチなどの報告。(速報性を重視する論文区分です)	1 名の審査委員の審査結果に基づいた担当エリアエディタの提案を受け、編集委員会が決定する。 刷り上がり 4 ページ以内とする。

2. 投稿原稿は、他の刊行物に未発表のものに限ります。論文執筆のチェックシートがあり、査読では論文区分ごとにオリジナリティを評価します。なお、論文誌上では単純に原著論文と研究速報と表示します。
3. 論文区分に対応した MS-Word のテンプレート、pLaTeX のクラスファイルとサンプルファイルを、和文用と英文用に準備し、上記ウェブページ上に公開しています。これらを正しく用いた原稿、あるいは、それと同等な原稿はカメラレディ原稿として掲載料金を低く設定しています。ご利用ください。
4. 査読プロセスの迅速化を目指し、電子ファイルでの投稿を可能にしています。メールで編集委員会事務局へ送付していただく形となります。執筆細則をご確認の上、ご利用ください。
5. CD-ROM による英文号の年 2 回の発行に対応して、英文論文の積極的な投稿を歓迎します。掲載料金は冊子体の場合の 8 割となっています。
6. 英文号を含め、著者のうち、一人は会員である必要があります。共著者全員が非会員の場合は、少なくともお一人が入会してから投稿してください。学会のホームページからも入会申し込みができます。
7. 以上、論文投稿先及び問合せ先：(財) 学会誌刊行センター日本経営工学会論文誌編集担当：室 (むろ)
TEL: 03-3817-5821, E-mail: k-muro@capj.or.jp
8. 論文誌は JST に所蔵され、JDreamII から有料検索できます。また、発刊から 1 年以上経過した論文は、CINII で無料公開しています (http://ci.nii.ac.jp/organ/journal/INT1000001611_ja.html)。
9. 論文誌は会員に無料配布されますが、別途 9450 円で年間定期購読もできます。(株) 国際文献印刷社 定期購読事業部 (TEL:03-5389-6305, E-mail: pub-post@bunken.co.jp) までお問い合わせください。